

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 5 月 10 日 更新

事務事業名		国保会計繰出金事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	2 福祉の健康				所属部	健康福祉部	課長名	末永 大樹
	施 策	5 健康づくりの推進				所属課	健康ほけん課	担当者名	橋本 武和
	施策の柱	22 保険医療制度の健全な運営				所属班	保険年金班	(内線)	1186
予算科目		会計一般	款 3	項 1	目 7	事業連番 10385	根拠法令	国民健康保険法	
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	・国民健康保険特別会計に法で定められた額を一般会計から繰出す。 ・国民健康保険法で定められており、国民健康保険特別会計の健全な財政運営を目的とされている。 ・制度充足は自営業者のために創設されたものであるが、近年においては経済状況を反映して無職者が多くなり、国保財政は一段と厳しい状況である。また、国の三位一体改革により従来は国庫支出金だけであったのが、平成17年度より税源移譲と共に都道府県支出金も創設された。 ・医療給付費及び後期高齢者支援金、介護納付金の増加により基金が枯渇したため平成24年度から保険税を上げたが、なお不足する分は法定外繰入を予算計上した。 財政安定化支援事業繰出金は低所得者負担能力補填分、60歳代の高齢者保険者を一定以上抱える保険者に対する支援措置として繰出しているもので地方財政措置(交付税)が講じられている。
【業務の流れ】	年間数回に分けて、国民健康保険特別会計に支障をきたさないように繰出している。
【主な予算費目】	繰出金
【意見や要望】	議会からは、国保税を下げるために一般会計からの法定外繰入金を継続すべきとの要望もある。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 国民健康保険特別会計へ繰り出しを行った		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 国民健康保険特別会計へ法定内分を繰出す
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 千円	予算の主な増減の理由
→ ア: 繰出金額		国保財政安定化支援事業繰出金及び出産育児一時金繰出金の減に伴う繰出金の減
→ イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
国民健康保険特別会計		→ ア:
		→ イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
国民健康保険特別会計へ繰出すことで、特別会計の財政の安定を図る		→ ア: 法定内繰出基準額に対する繰出金支出額の割合 %
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度
適正な繰出金をすることにより国民健康保険特別会計の財政の安定を図る。成果指標を繰出金額から法定内繰出基準額に対する繰出金支出額の割合に変更した。法で定められたルール分で設定した。		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込
① 活動指標	ア	千円	442,782	440,289	440,000	0	440,000	440,000	440,000	440,000
	イ									
② 対象指標	ア									
	イ									
③ 成果指標	ア	%	100	100	100	0	100	100	100	100
	イ									
投 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円	56,243	58,315	52,000	56,737	52,290	57,000	57,000
		都道府県支出金	千円	182,954	183,202	176,000	178,212	176,145	183,000	183,000
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円	197,258	198,772	209,407	194,801	198,311	207,500	208,000
	入 費	(A) 事業費計	千円	436,455	440,289	437,407	429,750	426,746	447,500	448,000
		(A)のうち指定経費	千円	436,455	0	437,407	429,750	426,746	447,500	448,000
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		人件費	人	3	3	3	1	3	3	3
人 件 費	延べ業務時間	時間	140	140	100	120	100	100	100	100
		(B) 人件費計	千円	547	532	398	437	398	398	398
	トータルコスト(A)+(B)		千円	437,002	440,821	437,805	430,187	427,144	448,398	448,398

事務事業名	国保会計繰出金事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康ほけん課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5年度の後評価、ただし複数年度事業は 5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 法で定められている。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】 法の基準に基づいて繰出しているの、余地はない。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業）⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 法に定められたものであり他に手段はない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 削減余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 国民健康保険加入者すべてに関係するので公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政が行う範囲である。

3 評価結果の総括（CHECK）

法の基準に基づいた適正な繰出金を行うことにより、国民健康保険特別会計の財政の安定が図られている。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）		(2) 改革・改善による期待成果 （廃止・休止の場合は記入不要） <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																								